

## 小学5年生児童票・中学2年生生徒票(8月7日以降)

問	内容	意見内容	検討結果
全体		○質問の設計の仕方 回答することで子どもが自分の「ない」状況を自覚する。対策としては、属性の設問がまず先にあり、自己評価・自己肯定感の設問があり、状況設問、の順序で行うと、バイアスがかかり難い。	性別という属性から入り、続いて事実に関することを聞き、次に感情面を聞くといった流れにしております。
全体		○小学生票について、(子どもの貧困の当事者) 当時の自分だったら、これに答えることで落ち込むことはないのではないか? 体験者である自分としては、思うままに答えていくのではないかと思う。	
全体		ネガティブな答えの割合が多いことへの懸念。	実態調査ということですので、ネガティブな答えも含めて実態を把握することにしております。
全体		○本人に烙印を押すようなところは避けたい部分ではあるが、埋もれている実態をどう浮き彫りにするか。	ネガティブな答えの割合については、設問数を増やすことで回答の負担が大きくなることから、ご理解いただければと思います。
表紙		(中) 回答期日の記載可能であれば、記載した方がよい(→先生が生徒に期日を伝えれば、保護者に生徒が伝えてくれる可能性が高い)	封緘された状態で配布され、学校の先生方が中身を見ることはないことから、配布用封筒に記載いたします。
表紙		調査の趣旨について、もっと分かりやすくしてほしい。	
表紙		・趣旨説明部分の文言の修正希望。「どの子ども安心して大きくなれるように、大人が何をしなければならぬかを教えてもらうためのアンケートです。」→「子どもたちが安心して生活し、また成長していくことができる社会としていくために、どのような支援が必要か、を考えるためのアンケートです。」に修正	表紙の「お願い」の枠内について、次の通り修正しました。 ■1つ目について、中学生票は「これは、藤沢市に住んでいる子どもたちが安心して成長できるように～」、小学生票は「これは、藤沢市に住んでいる子どもたちが安心して大きくなれるように～」といたしました。 ■2つ目について、「質問の内容が」といたしました。 ■5つ目(中)について、「数字」→「記号」といたしました。 ■6つ目について、「生きもの」といたしました。 ■7つ目について、封筒の色について、表記を変更しました。
表紙		・1項目め 「～どの子ども」→「～子どもたちが」 ・2項目め 「質問が」→「質問の意味が」「質問の内容が」 ・6項目め 「例2 生物」→「例2 生きもの」	
表紙		(中) ■5つ目 「数字」→「記号」 封筒の色の表記を変更	

問	内容	意見内容	検討結果
表紙		連絡先：月曜日～金曜日（祝日を除く）に変更	修正いたしました。
1	性別	性別で「男子」「女子」「どちらとも言えない気持ちがある」という3つの選択肢を入れたのは良い。 ・「わからない」だとだめか？「答えたくない」でないとだめなのか？小学校1年生でも、僕はどっちかわからないという女の子もいる。「答えたくない」だと自分を否定している感じを受ける。年齢であれば分かるが。 ・最近「その他」がいろいろなところで使われ始めている。「その他」が世の中の主流になっているのを感じるがそれもどうなのかという議論もあるし、難しい。 →結論：「わからない・（中点）答えたくない」が良い。	修正いたしました。
問1の後	1ページ目の帯部分	「ふだんの」→「いつもの」	修正いたしました。
3	朝ごはんを誰と食べるか		
4	夕ごはんを誰と食べるか	4.の「子どもと夕飯」のところとの統一性をみると、〔小学生票問4〕「夕飯は食べない」は、「夕飯を食べないことがある」ではどうか。問3と問4の間に「あなたは平日に夕飯を食べますか」を追加すると丁寧だが、設問をあまり増やさない方が良いので検討してほしい。子どもに夕飯を食べているか否かを聞くことは重要な部分。	夕ごはんをだれと食べるかの選択肢のひとつとして、「夕ごはんは食べない」を設定しているため、変更しませんでした。
5	食事の内容		（中）設問文に「学校で食べる」を追加しました。
6	主観的健康観		
7	虫歯の状況		
8	平日の放課後誰と過ごすか	「あてはまる番号1つに○」とあるが、一人に確定できるのか。	設問文の「一番多い人」という部分に波線を引くことといたしました。問11についても同様に変更いたしました。
9	平日の放課後どこで過ごすか	「Lその他（具体的に）」→「Lその他（たとえば）」	「その他（くわしく）」といたしました。他の設問についても同様に変更いたしました。

問	内容	意見内容	検討結果
10	一番ほっとできる居場所		
11	休日の午後誰と過ごすか	(中) 問8と同様、部活動の仲間が必要ではないか。	問8と同じ選択肢といたしました。 また、小学生票・中学生票ともに設問文の「一番多い人」という部分に波線を引くことといたしました。
12	休日の午後どこで過ごすか		問9、問11と同様に、「その他(くわしく)」といたしました。
13	生活習慣	B,C「持っていない」の項目必要か?	「持っていない」の選択肢を加え、Aについては×印をつけるなどして回答できないようにいたしました。 Bを「テレビを見たりゲームをしたりする(改行)時間などの～」といたしました。
14	活動の状況	(中) A「ゲーム機で遊ぶ」→「ゲーム(オンラインゲームを含む)で遊ぶ」 (実情として、ゲーム機を使った遊び方を今の生徒はしないため、選択に困る)	小学生票・中学生票ともに修正いたしました。
14	活動の状況	(中) B「テレビ・インターネットを見る」→「テレビを見る・インターネットを利用する」 (インターネットで何かを調べるのではなく、SNS利用が主流のため文言変えた方がよい)	小学生票・中学生票ともに修正いたしました。
14	活動の状況	「ふだん」→「いつも」	設問文の受け止め方が変わると思われたため、変更しませんでした。
15	所有の状況	(中) C「子ども部屋」→「自分の部屋(きょうだいと使っている場合も含まれます)」に修正 (子ども部屋は中学生にはそぐわない)	小学生票・中学生票ともに修正いたしました。
16	読書冊数		
17	学校が楽しみか	(中) 間で「学校生活」に限定しているので、A,C,D,Eから「学校の」という文言は削除	小学生票・中学生票ともに修正いたしました。
17	学校が楽しみか	(中) F. お弁当・学校の給食→昼食時間に修正	「時間」としてしまうと設問の意図が変わってしまうため、小学生票は「給食」、中学生票は「昼食」といたしました。

問	内容	意見内容	検討結果
17	学校が楽しみか	(中) 追加でG. 生徒会活動(委員会活動を含む)を入れる(部活動をしていない人もいる)	修正いたしました。
18	授業がわかるか	(中) 科目によって、理解の差があるので、聞き方工夫した方がよいかも?	この設問は総合的な学力の代替指標として設け、クロス集計の分析に用いるため、変更しませんでした。
19	勉強を教えてもらう相手		
20	得意な教科	(中) 10. 外国語(英語)、13. 特別活動(学級会活動)と追記してください	10番について、小学生票・中学生票ともに反映いたしました。中学生票13番・小学生票12番については、ともに「特別活動(学級活動等)」と修正しました。
20	得意な教科	設問について、回答の選択肢に「特別活動」とあるので、厳密には「あなたの得意な教科・活動は～」	修正いたしました。
21	学習習慣	4つの中から選択しなきゃいけない。自分はどっちかなど悩む。5年生の子ども達にこの複雑なところを(4つを)選択しなければいけない理由はあるのか?単純に子どもがスッと○がつけられても良いのではないか。	選択肢が奇数個だと真ん中に集中してしまい、また2個だと極端すぎるため、4個で維持させていただきました。
22	学校外の学習時間	まず、23の塾の状況を聞いた上で、22の内容を塾で○時間、家で○時間と分けて聞くように。	変更しませんでした。
23	学習塾・家庭教師の状況		
24	遅刻の有無・頻度		
25	将来の夢	「夢がない理由」は、子どもには答えづらい。ない理由は難しいので、どんなきっかけでその夢が生まれたのか(例:クラブ活動、テレビを観て、知人の仕事、親のすすめ)を把握できれば、場所づくりに繋がる。	回答しやすさの観点から、選択肢1を「もうすべてに満足(まんぞく)しているから」から、「今のままでよいと思っているから」に変更しました。
25	将来の夢	「ふだん」→「いつも」	「ふだん考えていること」と「いつも考えていること」では意味合いが変わってしまうため、変更しませんでした。

問	内容	意見内容	検討結果
26	自己意識等	いきなり「頑張れば報われると思う」と入るよりは、答えやすいところからにする。 例) 「自分のことが好きだ」「楽しみにしていることがたくさんある」を先にする。 「頑張れば～」 「自分は価値のある人間～」は、少し抽象的なので、保護者票と同様、具体的に答えやすい選択肢を先にする方が良いと思う	項目の順番を、 「自分のことが好きだ」 「楽しみにしていることがたくさんある」 「自分の将来が楽しみだ」 「自分は家族に大事にされていると思う」 「自分は友だちに好かれていると思う」 「不安に感じることはないと思う」 「ひとりぼっちに感じることはない」 「落ち込んでいてもすぐに元気になれる」 「がんばれば、よい結果が出ると思う」 「自分は価値のある人間だと思う」としました。
27	非認知能力	4つの中から選択しなきゃいけない。自分はどっちかなと悩む。5年生の子ども達にこの複雑なところを(4つを)選択しなければいけない理由はあるのか？単純に子どもがスッと○がつけられても良いのではないのか。	選択肢が奇数個だと真ん中に集中してしまい、また2個だと極端すぎるため、4個で維持させていただきました。
27	非認知能力	(中) 選択肢の網掛け部分が縦書きになっている。	横書きに修正いたしました。
27	非認知能力		Fを「話し合いの場で、自分やみんなとは違う意見でも、みんなが納得できるように話し合い、意見をまとめている」から、「話し合いの場で、みんなと違う意見があっても、みんなが納得できるように～」に修正しました。
28	相談相手		
29	不登校傾向等	不登校について、小学生の時は100人程度なのに、中学生になると300人ずつ増えていく、その変化、そこがどう拡大しているか。学校だけが全てではないかもしれないし、一概には言えないが、それをつかめるのは学校の先生の直面しているところが大きいだろうと思う。 あとは、学童のクラブ長。経済的な部分も含めてだと、職員よりもクラブ長がより把握している。学童にも繋がっていない子ども(家庭)がより心配。学童で何とか繋がってきた子ども達に割とボーダーの子どもが少なくない。その辺を調査票で拾えると良い。	ヒアリングでフォローする形とさせていただきます。 また、不登校傾向等と経済的な状況等を関連付けて、分析をいたします。 また、障がい、発達障がいの診断の有無について、保護者票の中に設問を追加しました。
30	施設やサービスへのニーズ	禁止事項がなく子どもが自由に遊べる場所(冒険遊び場など) ※補足事項とする考え方もある	具体的な施策等に関連付けることが難しいため、変更いたしませんでした。

問	内容	意見内容	検討結果
30	施設やサービスへのニーズ	「～6時以降」→「～6時から」	小学生票のみ、「～6時より遅い時間にいることが～」といたしました。 (中学生票については、理解できると判断しました。)
31	仲のよい友だち		
32	家族に関する心配ごと	「～団らん」→「との時間」	反映いたしました。
33	学校に関する心配ごと		
34	市への要望	最後の設問は、困り事や不安感があるよりも、「やってみたいこと」「希望すること」で終わる方が良い。	
34	市への要望	文言修正希望。「大人にお願いしたいこと」→「要望（大人の人が助けてくれるとよい、このような場所があるとよい、などと感じていること）」	設問文を「その他に、大人にお願いしたいことや、毎日の生活や学校で困っていることがあったら、なんでも自由に書いてください」といたしました。